

平成22年度実施予定協働事業（平成21年度藤沢市相互提案型協働モデル事業により採択された事業）

【市提案協働事業】

No.	事業名	団体名	市担当課	企画概要	事業期間	H22年度 事業費	H22年度 市負担金
1	応急手当普及啓発推進事業	NPO法人 ふじさわ救命普及推進会	救急救命課	本市では、平成6年度から市内のどこで傷病者が発生してもその場に居合わせた人の中の5人に1人は応急手当の技術取得者がいる様に、市民人口の20%（約80000人）を目標に応急手当の普及啓発事業を推進しています。更に平成21年度からは市内全中学校（19校）を対象とした応急手当教育を実施致します。本事業は消防職員と市民活動団体が協働し一般市民を対象とした普通救命講習及び中学生を対象とした応急手当教育を実施し、応急手当の普及啓発を推進するものです。	H22年度 ～ H24年度	2,300,000	2,212,000
2	農商校連携 地域食理解推進 普及事業	NPO法人 地域魅力	農業水産課	生産と消費が同じ地域で行われることが多かったかつての時代に比べ、現代の都市における生活ではそれらがなかなか分かりづらく、同時に、自分の住む地域で何が作られているかを知らないことも多い。本事業では、子どもたちが、楽しみながら地元の食材に触れる機会として計3回のレシビコンテストを実施し、優秀メニューは学校給食への採り入れや、飲食店、コンビニエンスストアでの提供を行う。 なお、本事業の実施にあたっては、地域情報誌「フジマニ」の協力を得ることとし、藤沢の著名人や地域の元気な店舗とのネットワークを最大限活用しながら、幅広い藤沢市民に対し、地域食材の理解推進と地産地消の促進を図っていく。	H22年度 ～ H24年度	1,000,000	1,000,000
3	健康メッセ (仮称)の 協働開催事業	NPO法人 湘南ふじさわシニアネット	地域保健課	市民の健康づくりには、行政の施策とともに、市民活動やボランティア活動など日ごろの地域で支える体制の強弱が大きく関係してきます。 今年度策定の市健康増進計画においては、この市民活動団体やボランティア活動を支援し、活性化していくことが今後の計画の推進基盤として重要なことと考えます。 そこで、市民との協働による健康づくりの推進を目的に、「健康メッセ(仮称)」を開催して、健康づくりに関する普及啓発、市民活動団体等の紹介や日頃の活動発表、情報交換、意見交換等の場を設けるものです。 なお、本事業はNPO法人「湘南ふじさわシニアネット」が、健康サークル「健康応援し隊」の協力を得て行うものです。	H22年度 ～ H24年度	540,000	490,000
4	防犯対策システム 運営事業	NPO法人 地域魅力	市民自治推進課	これまで協働事業として運営を行ってきた防犯対策システムの安定した継続運営を行い、地域の安全安心のための共助の仕組みを現状以上に発展させる。 警察署から提供された防犯情報や、市民から投稿された防犯情報の編集と配信、データの整理、HELPメールの確認体制などの日常業務に加え、かけつけ協力員、地域の防犯ボランティアとの共同研修を実施し、システムを軸とした地域防犯の促進のための企画・提案を行っていく。 また、防犯情報を携帯メールだけでなく電子会議室やポータルサイトを使って情報発信していくと共に、電線マップの「防犯情報マップ」に情報蓄積を行い、登録者以外にも情報が届くような多様な提供方法を模索していく。	H22年度 ～ H24年度	1,500,000	1,500,000
5	緑地(里地里山) 保全活動事業	NPO法人 藤沢グリーンスタッフの会	公園みどり課	過去3年、協働事業を実施、会は組織的、人的に強化、緑地保全活動の市民団体として大きく成長した。新たに3年間、20箇所の市有緑地の保全活動を実施するに当たり、経験緑地については、年間継続管理を導入し新たな試み始める。環境調査も強化、緑地特性を把握、適正な保全計画策定材料の提供を行なう。事業を推進する人的強化策である里山保全ボランティアリーダー養成事業を更に改善強化、実施する。 また、緑地保全を目指している市民活動団体に対する支援も積極的に進める。市有緑地を市民が保全する将来像を描きながら、緑の普及啓発を行い、市民参加型ボランティア体験活動、子どもたちへの自然観察会などを実施する。	H22年度 ～ H24年度	4,600,000	4,600,000
合計				5事業		9,940,000	9,802,000

【市民活動団体提案協働事業】

No.	事業名	団体名	市担当課	企画概要	事業期間	H22年度 事業費 総額	H22年度 市負担金 申請額
1	ジュニアライフ セービング教室 事業	NPO法人 西浜サーフライフ セービングクラブ	教育指導課	<p>藤沢市は全国有数の海水浴場を有し、年間400万人を超える海水浴客が訪れている。しかし2007年には2名の中学生が溺死する事故が発生するなど、子供を含め多くの水難事故が発生している。また海に近接しているという立地でありながら、小中学生が海について学ぶ機会が非常に少ない状況にある。</p> <p>そこで、ジュニアライフセービング教室では、海という誇るべき資産を活かし、小中学生を対象とした、海の知識を学ぶプログラムを実施し、水難事故を減少させることを目的としている。事業内容は、希望する小中学校に基本的な海の知識及び安全管理に関する講演又はプールでの講習を18回開催する。</p>	H22年度 (単年度)	1,198,000	1,198,000
2	藤沢の「食」による シティプロモーション 実践事業	NPO法人 地域魅力	産業振興課	<p>藤沢市の「食」によるシティプロモーションについて、平成21年度に実施した調査研究をふまえ、市内の様々な人々とともに藤沢に相応しい商品及び体制による実施段階に入る。</p> <p>一連の本事業のねらいは、藤沢の魅力を「食」という媒体を通じて強くアピールし、市内外に多数の藤沢ファンを誕生させることであり、これにより、①市外から藤沢を訪れる人々の増加により、農業水産業や観光分野を中心とした地域経済の活性、②多くの市民が、自分のまちに対して興味関心や誇りをさらに持つことによる、「市民力」「地域力」の強化を目的とする。</p> <p>本年度は、このためのツールとなり得る「食」メニューの商品化と販売・販促ツールの作成及び戦略検討を行う。</p>	H22年度 (単年度)	2,086,460	1,500,000
合計				2事業		3,284,460	2,698,000